

心肺停止女性、協力し救助

下京消防署 看護師ら3人に感謝状



坂本署長から感謝状を受け取る(左から)

渡辺さん、岩谷さん、岩森さん

—京都市下京区・下京消防署

京都市下京区のJ.R京都駅構内で、心肺停止で倒れていた女性を自動体外式除細動器(AED)を使って救

助したとして、下京消防署は21日、救命活動に貢献した男女3人に感謝状を贈呈した。

3月24日午後0時ごろ、J.R京都駅の西口改札付近で、女性(73)岡山県岡山市で倒れたことにJ.R社員の岩谷柗さん(19)が気づき、業務無線で同社員の岩森知美さん(34)に応援を要請。通勤中に居合わせた康生会・武田病院(下京区)看護師の渡辺めぐみさん(28)が騒ぎに気付き、3人で協力して救命処置を行った。

女性が発見時、意識がなくて脈拍も停止していた。渡辺さんらは、心臓マッサージやAEDによる電気ショックを施すなどの処置を行

い、駆けつけた救急隊員に引き継いだ。女性には病院到着後に意識を取り戻し、現在は社会復帰しているという。

現場を指揮した渡辺さんは、「女性が元気になったと聞いて安心した。病院での研修や、集中治療室で勤務している経験が役に立ちうれし」と話した。

(井上真央)